



発行 日本共産党 寝屋川市会議員団 824-1181(内線2399) FAX 824-7760 Email:jcpncc@cc-net.or.jp NO.2519

太田 とおる 高柳2-49-2 TEL 826-1664 田中 ひさ子 国松町10-36 TEL 823-1714 中林 かずえ 宝町4-33 TEL 839-2289 中谷 光夫 高宮2-19-5 TEL 823-5947 松尾 信次 下木田町12-6 TEL 821-7427

防災計画見直し・耐震改修促進

3月市議会 日本共産党がもとめる

高齢者・障害者などの避難計画策定を

避難計画策定を

三月市議会で日本共産党は防災について質問しました。大阪府は南海トラフ巨大地震が発生した場合、最大で震度六強の地震が発生し、最大十三万人が死亡するとの想定を公表しました。

三月市議会では、被災者支援策として、避難計画策定を求めました。市は「公共施設は十五年耐震化率九〇%をめざす」「木造住宅補助対象範囲の拡充や補助金増額を行う」と

答弁しました。このほか、災害時の住民の避難計画、特に高齢者・障害者・妊婦・乳幼児などの避難計画の策定を求めました。市は「災害時要援護者支援プランの作成に取り組み」、「妊婦・乳幼児等への対応は検討する」と答えました。

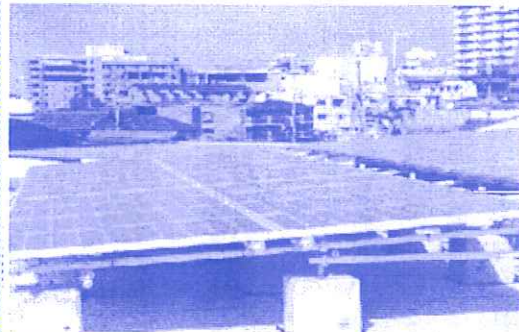
自然エネルギー

積極的な計画に

今年度予算では、市役所本庁舎への太陽光発電設置に向けた実施設計費(パネル四二枚)、自治会集会所への太陽光発電システム設置費用補助(クリーンセンター周辺二十八自治会・一自治会あたり二五〇万円)が計上されています。

高槻市は新エネルギー計画を策定し、再生可能な自然エネルギー等で、二〇三〇年には、市内の消費電力量の三五%以上とする目標をたっています。

画的な取り組みを寝屋川市に求めています。市は「災害時要援護者支援プランの作成に取り組み」、「妊婦・乳幼児等への対応は検討する」と答えました。



府営住宅募集

申込受付期間

4月1日(火)～ 4月15日(火)

新築・あき家募集ともに 6月以降の入居予定者募集です。

お問い合わせ、申し込み用紙は 日本共産党議員各事務所まで

今年度予算では、市役所本庁舎への太陽光発電設置に向けた実施設計費(パネル四二枚)、自治会集会所への太陽光発電システム設置費用補助(クリーンセンター周辺二十八自治会・一自治会あたり二五〇万円)が計上されています。

法律相談

4月17日(木) PM6時半 市民会館 2階 第3・4会議室 お問い合わせは 日本共産党市会議員団まで

視界

寝屋川市は「ブランド戦略」の一環としてびわこ号復活プロジェクトに取りかかっています▼これは、かつて大阪から大津まで走行していた、びわこ号を一四年度京阪電鉄寝屋川車両基地(木田元宮一丁目)内で約一〇〇メートル走行させるものです▼市は、このほど当初予定の自力走行をやめ、他の車両による牽引走行にするとし、八〇〇〇万円の募金目標を二五〇〇万円に修正するとしています▼

びわこ号プロジェクトは、市民的な賛同が広がっておらず、計画の縮小・見直しは当然です。このプロジェクトは、本年度で最終すべきです▼寝屋川市は「ブランド戦略」として、市の知名度を上げること等を強調していますが、寝屋川市が市民生活を守るための施策をしっかりとれば、市民はその良さを他市の住民にも伝えます▼かつて「子育てするなら寝屋川」と言われたような、具体的な施策水準を確保することこそ重要です。

東高齢者福祉センター 廃止しないこと

市内の旧同和地区では、数多くの公共施設がつくられ、公共事業用地が購入されました。もともと必要のないものが少なくありませんでした。

三月議会で党議員団は、(一)教育センターは利用者にきちんと説明し、いきいき文化センターに統合すること(二)東高齢者福祉センター

は高齢者が利用しやすい施設であり、現在地で存続すること。(三)不用地の処分については、すみやかに行うことを求めました。

また、旧同和地区内の一部を「まちなか再生エリア」とし、幅員六メートルの幹線道路を整備する動きとなっております。



市立東高齢者福祉センター

旧村の地域をはじめ、道の狭い地域が数多くあり、なぜこの地域の道路整備が優先なのか問われています。

道路整備

特別対策やめること

日本共産党は、第二京阪道路開通にもない道路整備がされる中、地区内の道路整備は、高宮あさひ丘に通ずる西方寺横の道に限定するなどの見直しをもとめています。

三月議会建設水道常任委員会では、地区内の道路事業において、代替地を市が用意する意向が示されました。

地買収では、金銭補償で対応しており、代替地を市が用意することはありません。かつての同和対策事業では代替地が用意され、等価交換でおこなうとされましたが、実際には一戸あたり市が一〇〇〇万円も持ち出しする例があいつぎました。特別対策となることはやめるべきです。

旧同和地区内 不用地処分すみやかに

第二京阪 沿道

新たな開発で

農地をさらに削減

寝屋川市では、開発優先をやめ、みどりや農地の保全・再生が重要です。

第二京阪道路沿道では、大型集客施設イオンモールの建設(寝屋川新家地区、四条畷砂地区)、小路地区土地区画整理事業などがす

すめられています。最大の問題は農地が大幅に減少することです。

大雨による浸水も農地の減少が大きな要因です。これ以上の農地の削減に歯止めをかけることが求められます。



議員誌



松尾 信次

3月27日、けいはん医療生活協同組合ひまわり・なでしこ支部主催の日帰り旅行に参加しました。

行き先は「伊賀の里モクモク手づくりファーム」(三重県伊賀市)で、広大な土地で農業や酪農がされ、食と農業を考える場としていと

ころです。

昼食は野菜を中心とした70種類もの料理バイキングで、満腹になりました。

足湯につかり、新鮮な食材を買ったりして、久しぶりに気分転換ができました。初めての人との出会いもありました。